

平成 30 年 5 月 1 日

氷見市長 林 正之殿

新保地内上庄川沿い道路の路側帯（退避場）の設置及び舗装等の
実施についての要望書

明和自治振興委員会
委員長 上坊寺勇人



早借自治会区長
速川自治振興委員会
委員長 廣田 重男



新保自治会
会長 坂本 雄伸



富山県西部森林組合
代表理事組合長
桃野 忠義



林市長におかれましては、表記の道路関係地区行政に格別のご配慮を賜り誠にありがとうございます。

さて、新保地内の上庄川沿い道路につきましては車同士のすれ違いが大変難しい現状にあります。つきましては下記理由から是非とも路側帯に退避場の設置をお願いを致したく要望するものであります。

記

1. 車同士のすれ違いが難しく交通事故の発生が懸念される。
2. 速川地区から上田方面への通勤道路であり、すれ違いに時間を要すると渋滞が発生する。
3. 特に大型車とのすれ違いが困難な場合には、バック等で対応しなくてはならず渋滞が発生する。
4. 上記1. 2. 3については、特に冬季間は増加する。
5. 今後は久目バスの運行ルートになる事も予想されスムーズな運行に支障をきたす懸念がある。





上庄川沿い道路の路側帯（退避場）の設置舗装要望箇所図

